

追跡

地域おこし協力隊の若者が町で活動しているんです。

一般質問で導入を提案された「地域おこし協力隊」。現在、2名の隊員が鹿追町で活躍しています。大西さんは「ジオパーク」、唐原さんは「子ども宿泊体験交流」とそれぞれの分野で活動をはじめました。

町企画財政課
唐原 香奈さん
(年齢)
25歳
(出身地)
千歳市、育ったのは恵庭市
(家族構成)
両親と妹の4人家族
(前職)
恵庭市学童クラブ指導員
(趣味)
料理



台東区を訪れた鹿追の子ども達



鹿追を訪れた福島県飯館村の子ども達 自然観察



鹿追を訪れた福島県飯館村の子ども達 農業体験

町教委社会教育課
大西 潤さん
(年齢)
35歳
(出身地)
上土幌町
(家族構成)
妻と生後4ヶ月の女の子
(前職)
ディサービス所長、ケアマネジャー
(趣味)
夏は登山と温泉めぐり、冬はスノーボード。一人で雪洞に泊まることも。



ジオパーク講演会



地球学の体験授業 火山の実験



ジオツアー 地質調査

大西潤さんに聞きました。

「ジオパークで繋ぐ」

協力隊に応募したきっかけは？
自然環境の豊かな所でのサービス起業を考え、起業地での人間関係の構築という課題について思案していました。そんな折、鹿追町で地域おこし協力隊の募集をしてい

「地域おこし協力隊」に就いて、「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・期間を最長で3年、道内では今年7月現在で35市町村、74人が協力隊員として活動中です。特別交付税による財源措置を受けています。

地域おこし協力隊

唐原香奈さんに聞きました。

「子どもの交流の一助になりたい」

協力隊に応募したきっかけは？
偶然見た転職のサイトで協力隊を知りました。今まで実家から離れて生活をしたことがなかったため、別の地域に住んでその地域のために働くという、協力隊員の仕事に興

ることを知り応募しました。なぜ鹿追町を選びましたか？

隣の音更町に親が住んでおり、何かあっても駆けつけられることができる距離であること。素晴らしい自然環境があること。サービス起業の余地を含んでいること。以上の3点を考慮し、鹿追町を選びました。

どんな仕事をしていますか？

町教育委員会社会教育課社会教育係で、ジオパークの担当として働いています。具体的には、しかおいジオパーク推進協議会事務局として計画の立案と実行、各関係機関との連携、広報誌の作成などの実務一般を行っています。今後は、福祉や環境アセス

鹿追町は、私の好きな野山

味を持ち応募しました。なぜ鹿追町を選びましたか？

募集している協力隊員の業務が「子どもたちとかわる」という、学童クラブで勤務していた経験を活かせるものだったからです。

8月に福島県飯館村の14名の児童を受け入れた東北被災地子ども受け入れ事業や、子ども農山漁村交流プロジェクトとして、都市部の児童の宿泊体験を鹿追町で受け入れることを計画しています。

「美味しいものが多いなあ」ということです。農産物はもちろんですが、おしゃれで美味しい飲食店が多いので、お店巡りを楽しんでいます。自分自身の今後への想いは？

協力隊終了後も、このまま鹿追町に残って働いていきたいと思っています。子どもとかかわるのが好きなので、そのような職に就ければいいなと考えています。まだ時間は残されているので、地域おこし協力隊員として携わった仕事の中から、自分の適性を見つけていこうと思っています。

「鹿追町子ども宿泊体験交流協議会」とは、都市などから農村地域での子どもの宿泊体験を持ち応募しました。募集している協力隊員の業務が「子どもたちとかわる」という、学童クラブで勤務していた経験を活かせるものだったからです。

「美味しいものが多いなあ」ということです。農産物はもちろんですが、おしゃれで美味しい飲食店が多いので、お店巡りを楽しんでいます。自分自身の今後への想いは？

